

- 東京新聞の記事
 - 社会 | 特報 | 政治
 - 国際 | 経済 | 核心
 - スポーツ | 放送芸

- 能
 - TOKYO発
 - 地域の記事
 - 東京 | 神奈川
 - 千葉 | 埼玉 | 茨城
 - 栃木 | 群馬

- 政治モニター調査

- ニュース特集
 - 能登半島地震
 - いじめと生きる
 - 村上ファンド
 - ライブドア事件
 - 耐震強度偽装
 - 北朝鮮問題
 - 試される憲法
 - We love Tokyo
 - 孤独死を追う
 - 東京スピリット
 - 安倍首相の一日
 - 特集ライブラリー
 - 号外一覧

- 首都圏高校野球
- 首都圏高校入試

- 天災・人災
 - 東海地震
 - 追跡・三宅島災害

- 訃報

- 論説

東京

カテゴリ一覧

荒川区が1年延期

再入札も、全社が辞退

区立保育園二園の給食の民間委託を新年度から計画していた荒川区が、委託先を決める入札を実施したところ、参加業者の入札価格すべてが予定価格より高かったうえ、仕切り直しの再入札では全社が辞退し、計画を延期せざるを得なくなったことが二十六日、分かった。保育園給食の民間委託が各自治体で進むなかで、業者側の供給を行政の需要が上回る“売り手市場”化が進んでいることが一因とみている。（榎本哲也）

区は本年度、ゼロ歳児を受け入れる二つの区立保育園で民間委託を始めている。新年度、新たに二園で民間委託を始めようと、今年二月に指名競争入札を実施した。

ところが両園とも一回目の入札で参加した全社が予定価格を上回り、二回目の入札でも最低価格が予定価格より二百五十万あまり高く、不調に終わった。区は今日九日、予定価格を積算し直して再入札を実施したが、今度は指名業者すべてが入札を辞退してしまった。

二十六日の区議会文教・子育て支援委員会で区側は、保育園給食の民間委託が拡大するなかで、経験のある栄養士らを業者が確保するのが難しくなっているなどと説明。結果として予定価格を低く見積もったことについて「時代の流れを読み切れなかった」と反省を述べ、二〇〇八年度には民間委託を始められるよう対応策を急ぐとした。

当日記事一覧